まるごと!西日本

2023年11月号

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索　オイスカ西日本

@OISCA_NTC
Instagram　facebook

日頃の様子を更新中！是非チェックお願いします！

佐賀視察

議会棟

10 月 23 日（月）、オイスカ佐賀県議会議員連盟主催で、佐賀県農業大学校と農業試験場の視察、並びに午後の部には議会棟訪問と、藤木先生のお宅で議員連盟の方を交えてバーベキュー懇親会を開催していただきました。

通常ではなかなか訪問できない農業大学校での様々な取り組み、試験栽培などについて説明を伺うことが出来、センターでは体験できない貴重な経験をすることが出来ました。

農業大学校を訪問した後は、佐賀県の議会棟を訪問し、議会棟のホールの中で通常行われている議会の内容について、詳しく説明をしていただきました。

その後、移動して藤木先生のお宅で、贅沢にも佐賀牛が入ったバーベキューに、研修生一同大喜びで懇親会は最高に盛り上がりました。このような楽しい機会をいただき研修生一同感謝しております。（豊田）

オイスカ佐賀推進協議会主催「料理交流会」開催

10 月 7 日（土）、オイスカ佐賀県推進協議会が主催して「料理交流会」が開催されました。今回の料理は、インドカレーとチベットのモモ（蒸し餃子）で、料理の先生としてインドのドゥリシャとチベットのカルマが参加しました。当日は 11 名の参加があり、佐賀商エビルの調理教室で 2 グループに分かれて料理づくりを行い、参加したお母さん方は手慣れた様子で野菜を切ったり、モモの具をお手製の餃子の皮で包んだりしてくれました。出来上がった料理はどちらも美味しく、試食した後は研修生が国の紹介をおこない、インドとチベットの国について理解を深める良い機会となりました。（豊田）

九電生協宿泊研修

ご寄付をいただきました。

10 月 5 日（木）～7 日（土）にかけて、九電生協の理事長をはじめ役員の方総勢8名が参加して、毎年恒例の宿泊研修が実施されました。研修内容は、主に農業体験ということで、ネギの土寄せからニンジンの間引き作業など、秋野菜の管理をみんなで行いました。また、研修生との交流事業については、国の紹介から各国の料理づくりなどを行い、大変美味しい料理を作ることが出来ました。

2 日目の夜には夕食懇親会が催され、歌あり踊りありの大いに盛り上がった有意義な懇親会となり今年も人材育成のための寄付金贈呈をいただきました。参加者の皆さんは研修生に対し常に温かく接していただき、お互いに交流を深めながら楽しい思い出を作ることが出来て、本当に有意義な研修会でした。（豊田）

日本語のようす　10 月はあっという間に駆け抜けたように感じます。研修生たちは、センターでの交流事業や外部への視察研修、イベント参加等で忙しくしています。夜、部屋に戻ると寒さから布団の誘惑に負けてしまう研修生もいるようですが、週 1 回の日本語クラスではお互いに声を掛け合って勉強しています。練習問題の「コーヒーもう1杯（いかが）ですか。」と（いかが）を選ぶ問題では、イベントでの野菜販売時に「オイスカの野菜いかがですか～。」と声を出すことを思い出し、漢字の学習では、（入口）（出口）の漢字を見かける場所を各々話してくれます。日々の生活も日本語の勉強になりますね。日本語能力試験まであと 1 カ月、全員が合格できるように、みんなで声を掛け合って、引き続き頑張ってほしいです。

そして、11 月 5 日には、大野城市日本語スピーチコンテストが行われます。練習も最終仕上げになり、頑張って練習しています。練習時に、ほぼ完ぺきに暗記をし、表情に感情も乗せて、発表してくれた研修生もいます。思わず、私自身の感情も揺さぶられ涙が出そうになりました。参加する研修生 5 名が自分の意見を堂々と伝えられることを願います。がんばれ、研修生！（立石考子）

体験農園だより

令和 5 年度　秋冬作後期を開始し、2 か月が経ちました。今回はホウレンソウの出来が非常に良く、きれいで立派なものが育ちました。すでに皆様にはご収穫いただいています。一方で、ダイコンは害虫による食害が目立っています。昨年度と比べると少ないほうですが、やはり心配になります。収穫までまだしばらくかかりますので、大きく育ってくれることを祈るばかりです。

そして 10 月 7 日(土)に稲刈り大会を行いました。6 月に皆様が植えた稲が大きく育ち、自分たちの手で刈り取ることができました。新米のおにぎりも大好評でした！けが人が出ることなく、楽しく稲刈りをできてよかったです😊(飯川)

スピーチコンテストに参加する研修生

緑のエキスポ見学　10 月 24 日（火）、福岡のマリンメッセで開催されていた「みどりの食料エキスポ」に研修生一同見学に行ってきました。今回の内容は、農業部門のブースがいつもより少なく、若干物足りないところはありましたが、お菓子やレトルト食品などの試食が出来て研修生は満足の様子でした。研修生は興味のあるブースに行って積極的に質問などもしていたので、それぞれ良い勉強が出来たようでした。（豊田）

11 月の予定

1 日　佐賀バルーンフェスタ
2 日　LP ガスフェア（～3 日）
5 日　大野城フェスタ
　　スピーチコンテスト
7 日　センターサミット(in 四国)
9 日　マレーシア技能入所
10 日　インドネシア独立記念式典
11 日　収穫祭
12 日　北九州エコライフステージ
14 日　ホテルオークラ研修
16 日　佐賀幹事会
18 日　脇山小学校餅つき
18 日　生松台ふれあい市
19 日　脇山校区スポーツ大会
21 日　福岡県庁販売会(～22 日)
23 日　東峰村 100 年の森づくり

ご協力ありがとうございます！

【10 月の寄付品】
泉利佳、第一交通、丹羽千尋

【10 月の新入会】 石丸　太郎
指山　清範、西日本電線株式会社
秀島　昌慎

農場研修風景　オイスカの農場は、稲刈りも 10 月中旬で終了し、秋野菜の管理もだいぶ落ち着いてきた時期で、現在は午前中の収穫作業と個人畑の管理などが中心となっています。今年は日中の気温が高い日が続き、雨が少なかったせいもあって、虫が例年より多い状況が続いております。センターの農場は有機栽培で、使用する農薬も植付後の 1 回のみで、それ以降はひたすら手で虫を取る作戦でがんばっています。頻繁に虫取り作業が出来ればいいのですが、1 週間畑に行けなかった時は、キャベツなどは葉っぱが穴だらけになってしまいます。そのような苦労をしながら育てたキャベツやブロッコリーは、私たちの苦労を考えずに通常の 150 円などで販売されていきます。皆さん、オイスカの野菜はこのように手間暇かけて育てられていますので、安心してお買い求めくださいね。（豊田）

脇小稲刈り大会　10 月 13 日(金)脇山小学校での稲刈り大会が実施されました。大会には全校生徒とともに自衛隊の皆さまや消防団の皆様、地域住民の皆様、早良高校の学生などが参加されました。学年ごとに分かれ、参加者の皆さまとともに刈り取り、1 時間半ほどで稲刈りを終えることができました。これからも地域の皆さまとともに主基斎田の地を守るために、次世代の子どもたちに稲作文化を伝えていきたいと思います。（飯川）

須恵町国際交流 BBQ 大会

10 月 22 日、福岡県須恵町国際交流協会主催の BBQ 交流会に研修生を招待していただきました。須恵町はオイスカ会員としてご支援をいただいており、交流会には平松町長はじめ副町長、町議会議長ほか国際交流協会会員、また須恵町在住の技能実習生も参加をして食事をとりながら研修生の踊りの披露やゲームをするなどして楽しく交流を深めました。ご招待いただきありがとうございました。(満川)

平松町長と記念撮影

インドのダンス披露

くれふるバーベキュー大会

10 月 20 日(金)、4 年ぶりにくれふるさん主催のバーベキュー大会がセンターで開催されました。くれふるは地元早良区にある福祉施設の団体で、当日はあいにくの雨でしたが参加者総勢 70 名程が参加して賑やかに開催されました。ちょうどこの時期は、お肉も、いいのですがセンターの新米で作った塩おむすびが絶品で、みなさんたくさん召し上がっていただきました。お腹がいっぱいになった後は、恒例のダンスタイムで研修生と利用者の方と一緒になって踊りを踊ってくれて、お互いに楽しい時間を共有することができました。(豊田)

オーレック祭り参加

10 月 28 日(土)、長年に渡りオイスカの活動を支援していただいている、株式会社オーレック様が主催する「オーレック祭り」に研修生一同参加してきました。会場は、広川町にあるオーレックの本社工場敷地内で行われ、当日はものすごいお客さんで大変賑わっていました。

オイスカの研修生は、会場内のステージイベントにて、20 分程度民族舞踊を 4 曲披露しましたが、研修生の楽しそうに元気に踊る様子を見て、会場内は大変盛り上がりました。ダンスを披露した後は、30 分程度工場見学をさせてもらい、ロボットが作業をする様子などを見学し、日本における最先端の製造技術に触れる良い機会となりました。(豊田)

佐賀国際フェスタ参加

10 月 29 日(日)、毎年参加している「佐賀国際フェスタ」が今年は神崎市役所の駐車場で行われ、オイスカ佐賀県推進協議会のブースでの野菜やお米の販売とステージでダンスの披露をしてきました。当日は天気にも恵まれて、地元の方やインドネシア、ミャンマーなど海外の参加者も数多く来ていただき、会場は終日賑わっていました。

会場内には様々な国の料理が販売され、研修生もいろいろな味を楽しむことが出来て喜んでいました。また、ステージイベントでもインドネシアやミャンマーの踊りが披露され、オイスカ研修生も負けずに3カ国のダンスを披露しました。
イベント時間が長く野菜の販売も大変でしたが、いろいろな国の方と交流を深めることが出来て楽しい 1 日を過ごすことが出来ました。(豊田)

脇山校区運動会

10 月 1 日(日)、脇山校区運動会に研修生とスタッフで参加しました。リレーや大縄跳びなど様々な競技に出ました。

一番最初の競技でオイスカチームは一位になれたのでこのまま調子よくいければ優勝できるか！？と思いましたが、残念ながら総合得点は最下位でした。上位になれず残念でしたが、怪我も無く、楽しめたので良かったです。(園田)

～会員さまご紹介～　　小野　泰司　様

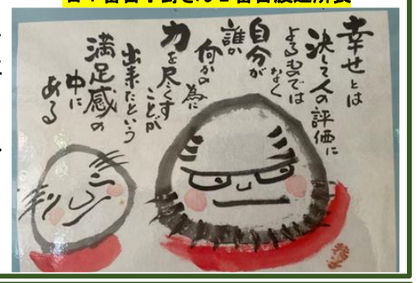
私の祖父は久留米の出身で、戦前台湾の製糖会社に勤務していた。昭和 18 年、フィリピン、ネグロス島の製糖会社へ技術者として派遣された。ところが戦況が悪化し、現地応召され米軍と戦闘状態となり、マンダラガン山中の「アリバサオ」にて戦死したのが昭和 20 年 7 月 21 日だった。「アリバサオ」を私と弟夫婦 3 人で訪問したのは令和 5 年 7 月のことだった。祖父が亡くなって 78 年目、かつて戦場だった地は、見渡す限りのどかなサトウキビ畑になっていた。

私のオイスカとの出会いは永福町の旧オイスカ本部で亀山氏に面会したことが、私にとって初めてのオイスカとの出会いだった。そのお陰でフィリピンに赴任されているオイスカバゴ研修センターの渡辺所長との出会いもあり、今回ネグロス島を訪問し、祖父の供養をすることができた。関係者に深く御礼申し上げたい。長年のオイスカ勤務を終えて、私は現在鹿児島にて造園業に携わっている。これからも緑や自然と関わっていきたいと思っている。
誰が寄贈されたのか、一枚の色紙がバゴ研修センターの壁に掲げてあった。

アリバサオ町長表敬訪問

(左から 3 番目の女性)

右 1 番目小野さん 2 番目渡辺所長



オイスカ熊本県推進協議会活動報告会

10 月 19 日(木)オイスカ熊本県推進協議会活動報告会が熊本市内のホテルで開催され、会員さんはじめ海外の研修生も参加をして 4 年ぶりに行われました。式典では丸本会長にご挨拶をいただき、石原副会長からは熊本モンゴルプロジェクトの経緯説明をしていただき、続いて熊本創造未来基金プログラムオフィサーの宮原様より「熊本 × モンゴルプロジェクト」の活動報告会が行われました。このプロジェクトは熊本県推進協議会のメイン活動で、第1弾は 2021 年から 2026 年までの 5 年計画で進められ、特にモンゴルの産業レベル向上と女性就労支援を目的に、ハンドメイド商品を日本に入れ販売プロモーション活動を行い、当日は会場でグッズの販売をされました。またモンゴル国家プロジェクトの植林活動を熊本県推進協議会も担い、来年は有志の皆さんでモンゴル植林も計画されています。第 2 部の懇親会では和やか雰囲気の中、研修生は踊りの披露をして会場を盛り上げ、楽しく皆さんと交流をさせていただきました。併せて熊本の観光スポット「阿蘇山及び熊本城」も見学でき日本の良き思い出になりました。ありがとうございました。(満川)

参加者全員で記念撮影

モンゴルの商品

阿蘇山見学

熊本城見学